

樹 姉 ば よ う

No.148
2017.2

慈
悲
喜
捨

二月は、まだ寒さが厳しく降雪の日もあります。しかし、その一方で、自然や草木、動物などが春に向かって動き出す月とされています。この二月は、私たちが住む日本国の「建国記念の日」があります。「建国記念日」ではなく、「の」がついているのは、次のような経緯にあります。

国民の祝日は、昭和二十三年に施行された「国民の祝日に関する法律」で定められます。昨年、八月十一日が「山の日」として制定されたので、現在は年間で十六日の祝日があります。よいいなことのようにですが、週休二日の他に祝日が十六日あると、経済や教育など様々なことへ影響がなか少々心配になります。

さて、「建国記念の日」は、「建国をしのび、国を愛する心を養う日」として昭和四十一年に定められました。明治時代には、「紀元節」という建国を祝う祝日がありました。第二次世界大戦後の昭和二十三年に廃止となりました。その後、紀元節を復活させようという気運が国内に高まり、国会への議案提出や、審議が繰り返された結果、昭和四十一年に、国民の祝日として「建国記念の日」

が制定されました。祝日として指定された二月十一日という日は、日本の初代天皇とされている神武天皇の即位日を新暦にした日ということです。

「記念日」ではなく、「記念の日」となったのは、神武天皇は歴史学上の存在が不明確なので、起源がわからないのでは記念日としては定められないという意見が多かったことにあるようです。また、「紀元節」は民主主義に反するという意見があったことも影響しているようです。そのため、史実によって建国された日としてではなく、建国されたという事実をお祝いすることとして「記念の日」として制定されたということです。

建国記念の日に特別な行事はありませんが、私たちが生活している国ができた日として、その誕生を祝う気持ちを持つことはとても大切なことです。外国の人々が自国を愛し、困難に遭遇してもそれに立ち向かっていくのと同様に、私たちも日本の国を誇りに思い、愛していかなくてはいけないと思います。

建国記念の日に、あらためて日本の歴史に触れ、私たちのこれからについて考えてみてはいかがでしょうか。

教頭 金安伸一



人生をつくる習慣

樹徳中学校・高等学校校長

野口 秀樹



季節は大寒から立春へ、春の前にはしてありますが、一年で最も寒い季節、体調管理に心掛けて元気に努めてまいりましょう。

大学受験生の諸君、最後の最後まで頑張れ！

あなたを毎日創り上げていく。あなたの強力な味方を意識しておりますか。それがなんだか解らないなどと言わないで下さい。

それはあなたが自分で創り上げた自分の習慣です。この習慣の威力をご紹介します。

私はいつもあなたのそばにいる

いちばん頼りになる助け手でもあれば、大変な厄介者でもある

後押しもすれば、足を引っ張って、しくじらせ

もする

私はあなたの命令次第半分だけやって任せてくれれば、私は残りを手早く正確に片づけてしま

私の扱いは簡単

念押しは不要

何をしたいか見せてくれれば、少しの練習で、あとは自動的だ

私は全ての偉大な人物の僕

そして何たることか、すべてのしくじりの主人

偉大な人が偉大になったのは私のため

私は機械ではないが、機械のような正確さと

人の知性によって動く私を動かして利益を得

ることもできれば、破壊を招くこともできる

私にはそれは関係ない私を利用して訓練し、

しっかり働かせなさいそうすればこの世を足

元に従えることさえできる

しかし、甘やかせばあなたを滅ぼす

私は誰か 私は習慣

『人生を築く時間の刻み方』
(産能大学出版部)

自分の味方にもなり、自分の人生の足を引っ張ることにもなる私の習慣、もつともつと意識して大事に取り扱うべきではありませんか。

孔子の論語にもこんな言葉があります。

「性は相近し
習へば
相遠し」

これは、人間の天性はそれほど違ったものではない。しかし、その人の

習慣によって大変違ったものになるということ

です。やはり習慣の重要さを説いているのです。

人の行動の大半は無意識（潜在意識）が操っています。無意識が行って

いるというのは、自分が気付いていない習慣やクセのことです。

つまり、私の普段の行動パターンのほとんどが私の知らない所で私の習慣が勝手に起っている

のもいえるのです。

ここで考えなくてはいいけないことは、今の私の習慣のままでは今の環境

しか得られないということです。

それがイヤならば自分の望む環境や人生を得る

ためには習慣を変えて行かなければならない。

日々の行動は無意識のうちには習慣化されているのです。

「習慣は第二の天性」と言われるように、よい習慣を身につけておくと生

まれ授かったその人の特性として輝き出す。

ですから何かを成し遂げた人は、習慣とは成功

への道だと考えているのです。だから絶えず習慣

を強化しています。そして偉人、天才と呼ばれる

ような人たちに共通の特長は、これまた「努力す

る」習慣を身につけているということ。

「習慣」の威力についてはご理解戴いたでしょう

か。軽々しく考えようと、とんでもないことになり

そうです。ではよりよい自分の人生を構築するた

めに、どんな習慣を身につけなければなら

か。これが問題です。十七世紀のイギリスの

詩人ジョン・ドライデンの言葉が参考になりま

す。

「まず人間が習慣をつくり、次に習慣が人間を作

る」

自分の人格、人生は間違ひなく自分が作っているのです。

節分の起源

節分。季節の分かれる時という意味で、本来は立春、立夏、立秋、立冬に移る時の全てを節分と

いった。この節分の夜には、「追儺」の行事がおこ

こなわれる。追儺は百鬼夜行する時と考えられ邪

気、疫鬼を駆逐する行事である。

旧暦では元旦から七日正月までの間に、新暦では二月三、四日にあ

たる。節分といえ、年男が「福は内、鬼は外」と唱えて豆をまく習慣を

連想する。名士や芸能人を頼んで豆まきをするのは、都市の神社にお

ける。最近の流行である。

鬼打ちをする節分の起源は、奈良時代までさかの

ぼる。文武天皇の代、慶雲三年（七〇六年）諸

国に悪疫が流行したので、鬼儺の儀式をしたのが節

分の始まりといわれる。

また一説には、宇多天皇の頃に、鞍馬山の奥の僧正谷に住んでいた鬼神が、都に乱入しようとしたので、三石三斗の豆を煎って投げ、鬼の目をつぶしてその災難から逃れたのが始まりともされて

大切なことを忘れていませんか 皆、昔は子供だったのです

寒さに思いつくこと

寒さが本格的になるのは、いよいよこれからである。

例年、大雪が記録されるのは年が変わった後だし、本校の入試も、雪に祟られることは意外と多いのだ。

ここ数年は、毎年必ず、交通機関に大きな影響を与えるレベルの大雪が一度は降っている。東北や日本海側の人たちからすれば「まだまだ」なのだろうが、年に数回しか雪を見ない関東の人間（平野部）にとっては、慣れていないだけになかなか手強い。

しかし、昔を思い出すと、小学生の時、授業を潰して先生も一緒になって校庭で雪合戦をしたり、家の庭で雪だるまを作ったら重くて動かなくなったりと、色々と思ひ出がある。昔のほうが、今よりも確実に雪は降り、そして積もっていたはずだ。雪の減少も、地球温

暖化の影響なのだろうか。

すると、古典の世界では、冬はさらに寒いものだったのだろう。古文の中に、「雪いと高し」「雪を踏み分け」などの表現が見られる。

昔の人たちは、この寒さをさまざまなかたちでうまく表現した。和歌、俳句などはその最たるものである。いずれも季語を用いて、その季節、気候を表す。

季語というのは、実に多彩だ。大抵の分類では、「春夏秋冬」以外に「新年」を加えた五種類となっている。もっとも、「季語」という言葉自体はそれほど古いものではなく、明治の時代に使い始められたとい、それまでは「季詞（きのことば、きことば）」などと呼ばれていたそう。日本の詩歌において、季節の意識はかなり古くからなされており、『万葉集』『古今和歌集』などは、巻によってそれぞれ季節によって部立てがされている。少なくとも、平安時代

の後期には、季語という概念が成立していたと言っているだろう。そして、鎌倉時代に連歌が成立すると、複数の参加者が特定の表題に関する句を作るため、言葉による連想の範囲を限定しなければならず、季語は必須のものとされた。連歌の発句（最初の五七五の句）は必ずそのときの季節に合わせて詠むべきものとされたのだ。

また、この時代、季語の本意・本情（ほんい・ほんじょう）というものが意識されるようになった。これは、和歌以来受け継がれてきた、その季語にまつわる伝統的な美意識のことで、季語についての議論が盛んに行われたという。

明治の時代に入ると、俳句の近代化を行った正岡子規が、十七字という俳句の短さに対して、季語によって起こる四季の連想が重要な役割を果たすとの考えを示した。

季語の優れている点は、時間や空間が特定され、多くの人々が持っている季節のイメージが瞬時に共有されることである。

子規の「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」

という句は、意味だけなら

ば、「法隆寺の近所で柿を食っていたら鐘が鳴った」というだけのものだが、「法隆寺」という誰もが知る寺の空間性（映像）に、秋の季語である「柿」の効果により、日本人であれば誰もが、秋の気候の心地良さと共に、何となく感じられるものの寂しさまでイメージできてしまう。これは、作者がイメージしたのと同じ美的感覚を共有できるということであり、季語からの連想が、いかに作品に大きな意味を持たせるかの良い例である。特に、世界最小の文学とされる俳句には、季語はまさしく、無くてはな

らない大切な要素なのだ。『徒然草』の兼好法師も、和歌の名人として有名であった。彼の自然に対する鋭敏な感覚にもすごいものがあるが、言葉選びもまた然りである。その兼好が、作品中に「家のつくりやうは夏をむねとすべし」などと言っている。彼が言うのでは逆らいようも無いが、風通しのよい家で迎える「昔の」冬は、いったいどれだけ寒かったのだろう。昔の人は我慢強いのか、はたまた丈夫なのか。とにかくすごい。

【編集子】



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」 2月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」
主催 野村ナナ子さん 2, 16日(木)
- (2) 七草ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 13日(月)
- (3) 販売実習(11, 25日の土曜日)
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
 - ③ 東北復興支援商品(海産物等)

インターアクトクラブの歳末助け合い募金 百十一万円を突破！

『歳末助け合い
募金活動を終えて』

IAC会長

三年S組 多田 優之介



樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動が、十二月一日から二十五日までの活動期間を無事に満了することができました。

募金活動は、校内はもちろん、街頭ではヤオコー相生店様、境野店様、アバンセ浜松町店様前で行いました。約一ヶ月にわたる活動で、お預かりした浄財の総額は百十一万八千六百七十三円となりました。お陰さまで、目標額としていた百万円を大きく上回ることができました。

ご支援いただきました方の中には、毎年私たちが活

動している事を覚えていて下さり、この日のために一年間蓄えた多額の浄財を募金して下さいました方もいらっしゃいました。

私たちは今年の歳末助け合い募金活動を担当しますが、これは過去の先輩方の活動が街の方々の記憶に残り、ご支援いただいたものと感じ、改めて多くの方々に支えられている活動であると思いました。

なお、お預かりいたしました浄財は昨年の十二月二十八日に、全額、桐生市社会福祉協議会に納金させていただきます。皆様からお寄せいただいたご支援が、それを必要とされる方々に届けられることで、



桐生市社会福祉協議会への納金

地域の福祉の向上に結びついていくものと確信しています。

毎年の恒例行事となった、樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動へお寄せいただいた、皆様のご支援に改めて感謝申し上げます。

ととも活動へのご支援、ご協力をお願い致します。

合掌

□センター試験出陣式

新年を迎えた一月十日、いよいよ迫る今年のセンター試験を前に、学校長からの激励の言葉をいただき、いた後、三年K組の池田健



いざ出陣！

太郎君から決意表明がされました。それぞれが三年間培ってきた学びの全てが、存分に発揮されることを願っています。

□校内書き初め大会

今年も校内書き初め大会が盛大に開催されました。参加者それぞれが「書き初め」を通じて、健全な心身と豊かな心情を養い、併せて、伝統文化への理解を深める新年恒例の行事です。



それぞれの筆に思いを込め、新年の書き初めといたしました。

☆書き初め大会結果
○学校長賞
三年J1組 高草木さやの
○最優秀賞
一年J1組 関口 美優

□鏡開き

鏡開きとは神仏に感謝し、またその供えられたものを頂くことで無病息災などを祈るものです。

柔道の「極め形」による庄巻の演武の後、今年も家庭科コースの生徒が運動部の活躍を願い、おいしいお汁粉を振る舞いました。



おいしいお汁粉
ありがとうございます！

中島祐輔氏
小山武彦氏
取受

新年の行事、
今年も華やかに。



受験生へのメッセージ



進学コース・一貫校の担任団から、受験を迎える三年生へのメッセージです
全員が目指す進路に合格できることを、全職員も祈っています

三年SS組担任 飯田 豊

この原稿が皆さんのところへ届くのは、センター試験が終わわり、私大の入試が始まった頃ですね。センター試験の結果はどうでしたか。うまくいった人、いかなかった人、悲喜こもごもだと思います。前者の人は気を抜かずに、後者の人は二次逆転を目指して下さい。

「受験」というと、辛いイメージしかないかもしれませんが、そうでもないのですよ。なぜなら努力の結果を実感できるからです。社会に出ると、個人の努力がそのまま報われることは少ないです。しかし、この勉強に関する限り、皆さんの努力は必ず皆さんのところに返ってきます。自分が頑張ったのに他人ができるようになってしまうということはありません。だから安心して努力して下さい。現役生は本当に直前ま

で伸びます。

Your bright future is just around the corner!

三年K組担任 新井 誠

Where there's a will,

there's a way.

(訳：意志あるところに道あり。)

とても有名な格言なので皆さんは、今までに、様々な場面でこの言葉を耳にし、また実践してきたことでしょう。換言すれば「自分の道は自分でしか開けない」といったところでしょいか。もちろん、これは受験にも当てはまります。最後まであきらめない心をもって挑みましょう。

そして最後に、私の座右銘でもある次の言葉を送ります。

Yesterday is the past, tomorrow is the future, but today is a gift. That's why it's called the present.

(訳：受験生ならば、わかりますよね。)

一日一日を大切に。

三年k組担任 阿久澤 純江

「登龍門」という言葉があります。「龍門に登る」と言う意味で中国黄河上流の急流な渓谷「龍門」をひとたび乗り切った魚が龍に化するという伝説から生まれた言葉です。「難関を突破して躍進の機会を掴む」という意味です。人生において自分の夢を実現するためには何回か「難関門」を通り抜けなければなりません。センター試験はその最初の関門でした。ここを乗り越えた受験生の皆さんは、新たな自信と勇気を持って私立大学入試や国立大学の個別試験に向け、闘志を燃やしていることでしょう。将来の夢を描いて。

「龍門」を登れば、そこには一回り成長した自分と人

生の新たな舞台があります。三年間培った自分の力を信じて、一気に駆け上がって行きましょう。

三年S組担任 関口 悠

これを読むとき、君たちは既に入試が終わっているか、まだいくつか残しているか、どちらでしょうか。

ここまで頑張ってきた君たちは、大学入試が高校入試とは明らかに異なることに気づいているでしょう。

高校入試は高校生活の三年間を決めるだけに対し、大学入試はその後の四年間だけでなく、一生を左右する大切な機会です。その結果、つまり入学する大学が

君たちの十八年間の「努力」の度合いを客観的に表す一つの目安となります。

まだ、入試を残している人は最大限「努力」をして好結果を残して下さい。終わった人は、これからでもよいので、「努力」し続けて下さい。大学入学後でも「努力」の結果は現れます。



六学年主任 北爪 充

「頑張れ」という言葉は、いつでも、どんな状況でも、簡単に使われる言葉だと思っています。だから「『頑張れ』っていう言葉、嫌いなんだよね」と考える人もいます。しかし、「頑張る」とことは、自分の限界に挑戦することです。頑張れば頑張った分、色々なものを見ることができてきます。そして、「真剣に本気で頑張れる」受験は、自分の可能性を具現化していくものです。ここまでは自分で行うことができた、と思うのは今の時期しかないかと思えます。そして周囲の人から投げかけられた「頑張れ」という一言を、自身の「頑張る」ことの栄養剤、カンフル剤として受け取ってもらいたいです。素直な気持ちで「頑張れ」を受け入れると、魔法に掛かったように「頑張る」ことができてきます。



一貫校

中学校

だより

◆青春に値する生き方

今回は、米国の詩人サムエル・ウルマン（一八四〇～一九二四）の『青春』と題する詩の一節を紹介いたします。「人は信念とともに若く／疑惑とともに老ゆる／人は自信とともに老ゆる／恐怖とともに老ゆる／希望ある限り若く／失望とともに老いる朽ちる」

青春とは、年の若い時代。人生の春にたとえられる時期を意味します。字義によれば、皆さんは、今、青春の真っ只中にいるわけです。心に何かがうごめき、何かを求めて飛翔しようとしています。しかし、ウルマンは、青春とは人間のあらゆる限られた時期を意味するのではなく、もっと奥深い意味があることを教えています。

皆さんの日々の生活を考えてください。自分はこうありたい、このように考える、という主張や信念がありますか。これだけは人と違う、自分らしさを持っていますか。また、将来の夢や希望を抱いて生活してい

ますか。もし、そうではないとしたら、ただ単に青春という時期を生きているに過ぎないのです。そこで、皆さんに考えていただきたいのは、青春という名に値する生き方なのです。

それは自分のアイデンティティ（自分は一体何者であるかが判っていること）を確立するために積極的に生きている。真摯な態度で自分自身と向き合い、より善くありたい、という生き方であり、自分は自分でありたい、という自信に満ち、決して信念を曲げない強い意志を持っている。

もし、皆さんがそうでないとしたら、年齢が青春期に相当するだけで青春の意味するものから最も遠くかけ離れたところにあると言えます。

ウルマンによれば、青春とは、人の心の中に宿る魂（精神）の瑞々しさ、希望の炎を決して絶やさない人間の心の有り様を意味する言葉なのです。改めて、青春という言葉に込められた

意味を考え、それぞれの人生を描いてみてはどうだろうか。（顧問・齋藤哲也）

◆音楽部定期演奏会



アイデアを出し合い、話し合いを重ねて新しい定期演奏会を造りました。二番良い演奏を届けよう。」というそれぞれの思いがぶつかり合い、なかなか意見がまとまらないこともありましたが、本番は満足いく形でお客様をお迎えすることが出来ました。

一部から三部まで合唱・吹奏楽十五曲を演奏。部員全員精一杯全力の演奏ができたと思います。これを最後に部活を引退する三年生は、それぞれ音楽部での思い出、感謝の思いを込めて演奏したことと思いま

す。ご来場頂いた方々に「上手だったよ」「頑張ったね」「お疲れ様」と声をかけていたかったです。本当に嬉しかったです。辛くて辞めたいと思った時もありましたが、三年間続けてきてよかったと思います。今回、部長として準備に当たり一番感じたのは、音楽部を支えて下さる方々のありがたみです。二年生の頃にはわからなかった準備の大変さを知りました。音楽

◆樹徳中学校第3期入学試験 平成29年2月4日（土）

出願期間

平成29年1月31日～2月2日

○お問い合わせ先

TEL 0277-45-2257

部のOB・OGの方にはたくさんアドバイスを頂き、当日も受付や舞台袖で支えて頂きました。また、応援や協力をして下さった保護者の方々、先生方、友人達、多くの方々のお陰で無事演奏会を開催し、終了することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今までの音楽部生活で得たものを糧にして、周りの人への感謝を忘れず、生活していきたいと思えます。

音楽部部長 吉田梓

幼稚園だより

「寒さの中で 感性を磨く」

園庭に出ると吐く息が白くなり、寒さを感じさせます。子どもたちはうれしそうに白い息を吐きながら、元気に園庭を駆けまわっています。

二月は卒園準備等の行事や寒さから、戸外での活動や自然の変化に気づきにくくなる季節でもあります。木漏れ日のあたたかさや、スーッと教室に入ってくる冷たい風の感覚、早朝のみに出会える氷や霜柱、木々から頭をもたげ始める木の芽への気づき等に感覚が鈍くなりがちです。寒い日はポケットに手を入れたり、前屈みになって歩いたりする姿や、家庭では暖房の中でぬくぬくと育っている子どもたち。寒い冬だから体験できる自然現象や、土や砂などの自然物等に触れるなど、この時期だからこそ



たこ揚げを楽しむ子どもたち

できることに挑戦させたいと思います。はく息の白さや、凍った水と空気が織りなす美しさ、立ち枯れているように見える内側に生命力を秘めている木のありよう、日陰と日なたの温度差にあるぬくもりなどを感じ、心の動きを楽しむ事が大切です。

子どもたちはどんなに寒くても、天気の良い日には園庭に飛び出して、駆けまわります。いろいろな発見をしています。霜柱を踏んだり手で触れ

たり、興味深そうに楽しんでいます。そして、霜柱からバケツに水を張って氷作りに挑戦する中で、氷ができていくのに関心を示し、朝一番に、できた氷を手で割って遊ぶなど・・・興味・関心はさらに発展し、遊ぶ中で科学したり芸術したり、これらの体験（遊び）が学校で学ぶ時の基礎（素地）になるのだと実感しています。子どもたちが持ち合わせている四季の楽しみの感覚を、大人のほうが鈍磨しないよう注意していかねければと強く感じています。

篠木 真さんの写真集『子どもは・・・』（現代書館）の中に、大事にした一言葉があります。

「あそびのなかに 見えないものを 見出す感性 聞こえないものを 聴き出す感性」

「わすれないで なくさないで 自分の心で」

この言葉はわたしたち保育者がみずからの心で、自然の中に、暮らしの中にいろいろなものを感じ取り、見出していく感性が、子ども



雪化粧の赤城山（幼稚園屋上より）

「誘導教育（保育）の必要性」

もと子どもが育つ、新たな世界との出会いを取り結ぶ保育者の専門性や、保育的感性であります。子どもの遊ぶ姿から、子どもの生きる世界で、子どもと同じものに眼差しを向け、生きる感性を磨いていかなければと思っています。

（参考文献・「保育のみらい」秋田喜代美著）

家の建築でいうと「生活」の中で育つのが土台や基礎部分で、幼稚園や学校で受ける「教育」が窓や部屋割り等に当たりますが、今はその土台の建築が不十分のまま、上物をつくるような

人間の育て方になっていないでしょうか？そのため、幼稚園の中で土台も上物も同時につくるような内容・方法の工夫が求められています。大事なものは遊びです。子どもたち自身の創意や工夫が引き出されるような遊び（活動）が必要になります。遊びを通して、科学的な探検や芸術的な想像に進んでいくように導く、誘導教育（保育）が大切になってくると考えています。

園長 瀬谷 茂

『入園願書受付』

○受付時間

平日八時三十分～十八時

○「今後の予定」

・入園生活説明会

二月十日（金）

・体験入園

二月二十一日（火）

※入園願書は三月末日まで受け付けております。三歳児・満三歳（二歳児含む）・転入園児等の入園をお待ちしています。

○お申し込み・お問い合わせは、樹徳幼稚園まで直接ご来園くださるか、お電話にてお問い合わせください。

住所 桐生市広沢町

三丁目四四五

0277-5315571

2月(忍辱)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	水	校内基礎学力テスト③ 1年生スキー教室一斉指導 マイトリー基金記念日	あいさつ運動 願書受付(～2日)	桜木地区環境よくする会 英語(全)・文字と数(年長)
2	木			体育(全)・文字と数(年中)
3	金	授業料納入日(3年2・3月分) 第3回諸費納入日 担任宛成績提出(3年) 県校長会	中1節分会	節分会(大善寺) 保育料納入日
4	土	2年センター早期対策模試(～5日)	中学第3期入学試験	
5	日			
6	月	LHR 3年生登校日 3年生教務宛成績提出(3年) 一般入試合格発表	あいさつ運動	リズム(全)・線(年少)
7	火	卒業褒賞関係候補者成績会議	合格発表	
8	水		入学手続き(～10日)	英語(全)・文字と数(年長)
9	木		中2立志式	体育(全)・文字と数(年中)
10	金	卒業成績会議(15:00～)	漢字検定③	入園生活説明会 母の会新年会
11	土	建国記念の日		
12	日	堀マラソン大会	堀マラソン大会	
13	月	朝礼		リズム(全)・線(年少)
14	火	後援会役員会④ 写真撮影(1・2年生)	ミニマナーアップ運動	涅槃会(大善寺)
15	水	涅槃会 ITS研修⑤	中1・中2スキー教室(～17日)	3年目経験者研修 英語(全)・文字と数(年長)
16	木			体育(全)・文字と数(年中)
17	金			2・3月生まれ誕生会
18	土	第2回入学手続き 職員出勤日 英語検定③二次 数学検定②	入学説明会② 数学検定③	
19	日	全経簿記検定③		
20	月	LHR 1年生男子スキー教室(～21日)		リズム(全)・線(年少)
21	火			新入園児入園体験日 読み聞かせ
22	水	1年生女子・SSスキー教室(～23日)		お茶のお稽古(年長)⑦ 英語(全)・文字と数(年長) 設置者・園長研修会
23	木			体育(全)・文字と数(年中)
24	金			年少保育参観
25	土		新入生・保護者学習課題相談会①	
26	日	日商簿記検定③		
27	月	LHR 卒業式会場作成 7時限大掃除 女子制服アフターサービス		年中保育参観 リズム(全)・線(年少)
28	火	卒業式予行演習 予餞会 出欠統計		年長保育参観

※ 1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく